

# 品質見える化ツール導入の壁 ～乗り越えるための3つの秘訣～



キヤノンソフトウェア株式会社

伊藤 浩子

# 概要

背景：テスト工程に入ると進捗や品質が見えない

課題：品質見える化ツールの導入推進をしたが  
利用が進まず、利用しても有効に使えない

問題分析と施策：課題を乗り越えるための3つの  
秘訣をご紹介します

効果と今後の課題

# 背景

プロジェクトがテスト工程になると、  
途端に進捗や品質が見えにくくなり  
問題が潜在化する



納期  
遅延

品質  
低下

コスト  
増加

# ツール導入の経緯

2006年4月

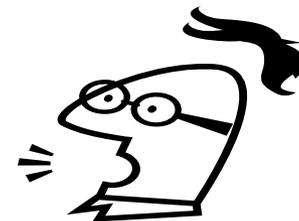
グループ会社で使われていたツールを導入

- ◆説明資料、マニュアル整備、説明会の実施
- ◆サポート窓口／Webサイト開設

2006年12月 導入プロジェクトへのヒアリング

有効に使われていない

なぜ!?



# ツール利用の相違

	グループ会社	当社
評価体制	第3者評価	開発内評価
拠点	分散拠点	同一拠点
検証者	品質のプロ	開発者

# 問題分析と施策

使用負荷が高い

<分析>

<施策>

開発体制に  
合わない

プロセスにうまく  
組込めない

①機能を絞る

②導入を助ける

結果を活用できない

グラフの見方が  
分からない

③研修で教える

④使って見せる

# 施策①

## ①機能を絞る

ワークフロー機能をなくし、簡易的なものに

手入力を極力なくし、プルダウンで選択入力

グラフ化する項目を4項目にしぼり入力項目を削減

# 施策①

1. Simple is the Best

ツール  
改善

ワークフロー機能をなくし、簡易的なものに

ツール  
改善

手入力を極力なくし、プルダウンで選択入力

The screenshot shows a software interface for defect management. The form is titled '障害管理票' (Defect Management Form) and includes the following sections:

- プロジェクト情報 (Project Information):** Fields for '顧客システム名' (Customer System Name), '顧客名' (Customer Name), and 'プロジェクトID' (Project ID).
- 登録情報 (Registration Information):** Fields for 'No.' (Number), '障害管理番号' (Defect Management Number), and 'ステータス' (Status).
- 障害概要 (Defect Summary):** A section with tabs for '概要' (Summary), '詳細' (Details), and '添付ファイル' (Attachments). It contains a table with columns: '発見日' (Discovery Date), '発見者' (Discoverer), '発見工程' (Discovery Process), '発見テスト名' (Discovery Test Name), and '初期分類' (Initial Classification).
- 障害対応判断 (Defect Response Judgment):** A section with columns: '対応有無' (Response Existence), '影響度' (Impact), '緊急度' (Urgency), '処理分類' (Processing Classification), and '閉発担当' (Closing Developer).
- 原因分析 (Cause Analysis):** A section with columns: '調査日' (Investigation Date), '調査者' (Investigator), '不具合の埋め込まれた工程' (Embedded Process of Defect), '原因分類1' (Cause Classification 1), and '不具合種類' (Defect Type).
- 対応情報 (Response Information):** A section with columns: '対応日' (Response Date), '対応者' (Responder), and '対応分類' (Response Classification).
- 再評価 (Re-evaluation):** A section with columns: 'テスト日' (Test Date), 'テスト結果' (Test Result), '完了確認' (Completion Confirmation), '最終分類' (Final Classification), '完了日' (Completion Date), and '完了確認者' (Completion Checker).

# 施策①

1. Simple is the Best

ツール  
改善

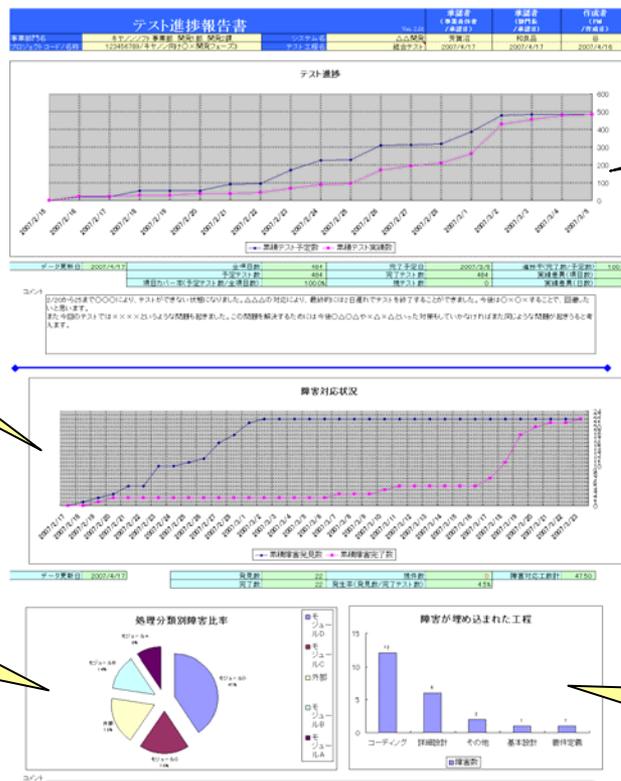
グラフ化する項目を4項目に絞り入力項目を削減

障害件数と  
対応完了数

テスト進捗

障害が多い  
場所

障害が多い  
工程

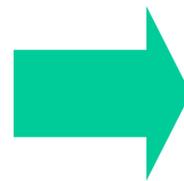


# 施策②

2. 手取り  
足取り

②導入を助ける

~~ツールの  
使い方~~



プロセスへの  
組み込み方

# 施策②

2. 手取り  
足取り

## ②導入を助ける

### 例1)顧客提供の障害管理システムとの連携

ツール  
改善

顧客の障害管理システムからCSV形式でデータをダウンロードし、品質見える化ツールに取り込むための連携ツールを開発。

支援の  
改善

テスト工程における役割定義、業務フロー、ルール策定の支援

# 施策③

2. 手取り  
足取り

## ③研修で教える

支援の  
改善

PM内部研修の中に1コースを開設。  
年2回の定期開催。  
教材はWebからダウンロード可。



# 施策④

3. 効果の  
見える化

## ④使って見せる

支援の  
改善

全社プロジェクト推進会議※の推奨ツールとする。

会議の場でグラフを見て、意見・アドバイスを実践する。

効果を実感した上位管理層が自ら利用を促進。

※大型受託開発の進捗や品質を見る全社的な会議。

# 効果①

- 導入プロジェクトが増加

	2006年	2007年	2008年
小型プロジェクト	6	6	たくさん※
事業部	0	1	4
大型受託開発	0	0	2

組織的な導入が進んだ

※利用申請をなくし、Webから自由にダウンロード可としたため、正確な利用者数は把握していない。

## 効果②

- 問題の早期発見

例1) 要員を追加投入するかどうかの検討

例2) どの工程までさかのぼってやり直すかの検討

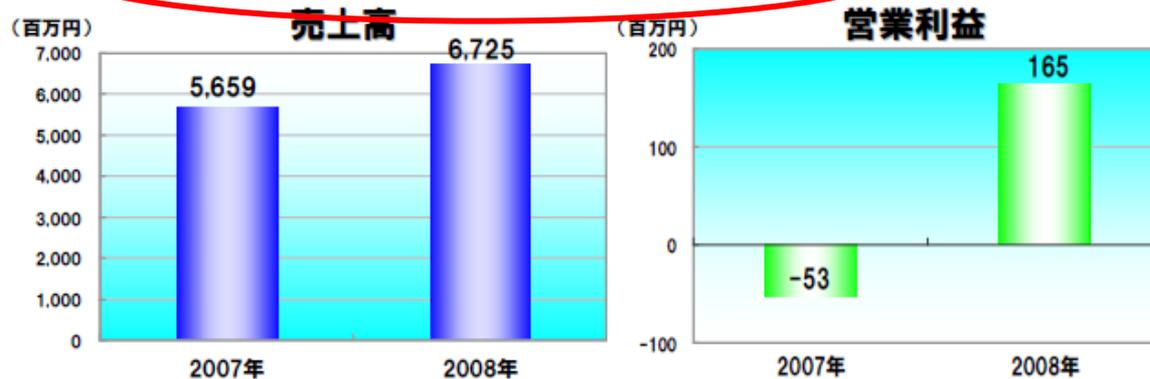
例3) 障害の極端に多いモジュールの作り直し検討

# 効果③

## ●失敗コストの減少

### 売上2ケタ成長 + 連結子会社の黒字化による利益改善

- 売上 67億25百万円（対前年118.8%）
  - 連結子会社の拡大（グループシナジー効果）
  - 基幹システム構築支援関連の売上も堅調に推移
- 営業利益 1億65百万円
  - 連結子会社の利益改善（黒字化達成）
  - ソフト開発の効率化が進む（不採算の減少）

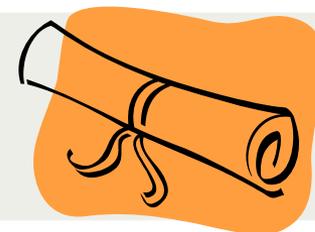


キヤノンソフトウェア株式会社

© Canon Software Inc., 2008

5

# まとめ(秘訣)



Simple is the Best

手取り足取り

効果の見える化

# 今後の課題



検収後、失敗コストの削減

ツールの更なる改善（web化等）

ツールメンテナンス体制の確立

# 品質見える化ツール導入の壁 ～乗り越えるための3つの秘訣～



**Thank you**